

1年生学年だより

呼吸を合わせる！

平成27(2015)年9月17日(金)

第28号

吹田市立第二中学校第一学年



文化祭直前に訪れた、この学年最大のピンチ！

昨日のプレリハは、それぞれの部門の動きがかみ合わず、結局時間切れ…となっていました。

う～ん。ピンチだ。

1年生の舞台は、スピーディーな場面展開が一つ目の大きなポイント。各部門、担当者、演者が自分のタイミ

ングで動くのではなく、お互いの呼吸を確認しながら舞台を進めていかねばなりません。

そういう意味では、昨日は「自分のタイミング」が精いっぱい、互いの呼吸を合わせる意識は難しかったと思います。余裕がなかったよね。

まだまだスイッチが入っていない人もいると思うけれど、「君を乗せて」の合唱や、シンガーズ女子のアカペラ、怒られても怒られても、へこたれず演じきろうとするキャスト。舞台の転換を必死で覚えようとする大道具。初めてライトを操った照明担当。そして初めてキャストと合わせた音響…。がんばろうとしてる人はたくさんいるんです。

初めてづくしで、うまくいくはずもないやね。そらそうです。

今日の7時間目までにすることは、「台本をもう一度読んで、流れと自分の動きの確認する」です。

そして今日の7時間目は、「呼吸を合わせる」ことに集中してください。

どの部門が欠けても成功しない。



ひとつの部門だけが良くて、舞台はなりたない。

言い換えれば、一部の頑張りやさんだけが頑張っても舞台は成り立たないということです。

この学年に訪れたピンチ。

乗り越えるのは、「呼吸」です。

でも。この状況から、舞台を成功させられたら、すごいことやと思いませんか。

ピンチはチャンス！この状況、わくわくするね！

乗り越えよう。全員で。

まずは、あなたが100%を！

そしてみんなの呼吸を感じよう！

最後に、昨日のHさんのお話を掲載します。照れ屋のHさんらしい話し口でしたが、思いが伝わる内容でしたね。

「パートリーダーのHです。今日、先生とパートリーダー会議の後に話して、頑張ろうかなって思って、この中にもまだ、100%だしたろう！って思ってない人も、たぶんおると思う。先生と話してる前までは正直、僕もそうやったけど、人生の中で、同じ学年で一生懸命同じ劇をみんなでやるとか、そんなに多くない。だから、その数少ないなかの一回やから、みんなで力を合わせて頑張りたい。いや、頑張る！だから、みんなも頑張ろう。」

